

地域のつながり 深まれ

同女大が
イベント

京田辺のキララ商店街で

「一休どら焼き」に舌鼓

◆…地域の輪を広げようと、京田辺市河原のキララ商店街で17日、同志社女子大学の学生が企画したイベントが開かれた。学生らが開発した「一休どら焼き」の試食会や、まちのゆるキャラとのふれあいなど、多彩な企画が催された。

◆…京田辺の地域振興に取り組んで

いる情報メディア学科の学生6人が、商店街とコラボして初めて開催した。会場の商店街事務局「キララの駅」には小学校低学年の子どもやその親など多くの住民が訪れた。

◆…学生たちは、市内の農産物直売所「普賢寺ふれあいの駅」の加工部のメンバーと共同開発した「一休どら焼き」をPR。どら焼きは、白あんに直売所の「一休みそ」を練りこみ、ほど良い甘さに仕上がっている。

◆…「みそ」と「スイーツ」のコラボに、子どもたちは戸惑っていたが、口にすると「ちょっとしょっぱくておいしい」と嬉しそうに頬張っていた。学生はどら焼きのレシピカード

も配り、家での調理も呼びかけた。◆…会場には商店街のイメージキャラクターの「キララちゃん」と、京田辺観光大使の「一休さん」も登場。子どもたちとハイタッチしたりしてイベントを盛り上げた。

◆…2回生の有田麻里さん(19)は「ふれあいの駅と大学、商店街を地図上で結ぶと円になる。小さな輪だが、これをぎっかくに大きな輪になれば。商店街やふれあいの駅に来てくれる住民が増えたら嬉しい」と話していた。

【西井紅音】
【写真は学生と交流しながら「一休どら焼き」を頬張る子どもたち(京田辺市のキララ商店街)】

